

読み取った内容を可視化し、伝え合うことを通して、読みを広げたり深めたりする授業

坂井 昭彦

1 単元名・題材名

さまざまな視点で物語を読もう 『風呂場の散髪―続岳物語』(学校図書)(1年)

2 目標

- 読み取った内容を可視化し、伝え合うことを通して、目的に応じて必要な情報に着目して場面と場面、言葉と言葉、場面と描写、自身の体験や経験などを関連付けて、内容を自分なりに解釈すること。

3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基にとらえることができる。	<ul style="list-style-type: none">目的に応じて必要な情報に着目して場面と場面、言葉と言葉、場面と描写、自身の体験や経験などを関連付けて、内容を自分なりに解釈することができる。	<ul style="list-style-type: none">複数の視点から文章を読むことの有用性を実感し、それらを日常の読書活動に活かそうとする。

4 本題材を学習する意義

文学を読むということは、自身の体験や経験と関連付けながら、登場人物の言動に共感したり、描写の内容を想像しながら自分なりに解釈したりすることである。このことによって、自身の見方・考え方を広げることとなり、ここに文学を読む価値がある。

生徒は、日常の読書活動において、無意識に自身の体験や経験と関連付けて情景を想像しながら文章を読み進める中で、登場人物の心情やその変化、成長、作者の伝えたいメッセージをとらえながら、その作品のよさやおもしろさを実感している。

そこで、本単元においては、読書指導法であるリテラチャー・サークルの手法を参考に、生徒自身がそれぞれの役割（「コネクター」「クエスチョナー」「イラストレーター」「リサーチャー」）に沿って文章を読み、ワークシートに考えたことやわかったことを記述したり、グループの中で伝え合ったりすること（可視化）を通して、登場人物の心情やその変化をとらえたり、言動の理由について考えたりする。

本単元の題材『風呂場の散髪』は、反抗期を迎えた少年「岳」と父親が、風呂場での散髪という行為をめぐって対立しながら、新しい関係を築こうとする姿を描いた作品である。父親の視点から書かれた文章で、父親の「岳」に対して思うようにいかないもどかしさや頭ではわかっている「岳」の成長を素直に受け入れられない姿が描かれている。

「岳」の視点に立って読み進めていくと、これまでは、父親に対して自分の気持ちを言えなかった「岳」が自分の気持ちを言えるようになった場面をとらえることができる。ここから「自立」について考えるきっかけとなる。作品中に描き出されている出来事や心情は、散

髪という行為こそ違えども、まさに学習している生徒一人一人の日常の姿である。したがって、場面と場面、言葉と言葉、場面と描写、自身の体験や経験などを関連付けて文章中の描写から登場人物の心情やその変化をとらえながら共感できる。父親や母親との葛藤を繰り返している中学1年生という時期にこの小説を読み取らせることは、自分を見つめさせる意味からも大変意義がある。

5 本題材における手だて

<手だてア>

日常の読書活動における読みの視点を全体で共有した上で、目的に応じた視点で文章を読む役割を設定して、小グループで作品を解釈していく活動を組織する。

文学作品を読む際に、登場人物の相互関係や心情の変化を描写を基にとらえ、自身の体験や経験と関連付けて内容を自分なりに解釈するという資質・能力を発揮させるために行う。

最初に、『風呂場の散髪―続岳物語』、P5L16まで読ませて、「父親はどのような人か」を問う。その後、父親の人物像について、P5L16までの描写を基にまとめさせる。

父親の人物像について生徒に発表させる中で、「本当に父親の人物像はここに挙げられたものか」などと問う。これらの問いによって生徒は、作品の続きを読みながら「父親はどのような人か」「父親は岳に対してどのような思いをもっているか」を追究したくなる。さらに、日常の読書活動における読みの視点を全体で共有する中で、「自分の体験などと関連付けて」「疑問（問い）をあげながら」「頭の中で具体的にイメージしながら」「心情がわかる描写を基に読む」などの意見が予想される。そこで、「コネクター」「クエスチョナー」「イラストレーター」「リサーチャー」として役割を決定して続きを読ませる。

この働き掛によって、自分と岳とを重ねながら、且つ岳の視点や父親の視点に立って内容を自分なりに解釈する。その中で、「父親は岳をどのように思っているのか」という目的意識が醸成され、下記のような課題を見いだす。

<本題材における課題>

父親は岳に対してどのような思いを抱いているか

その後、「コネクター」「クエスチョナー」「イラストレーター」「リサーチャー」の役割で読む活動を行わせて、それぞれの役割で分かったことなどをグループで交流させる。

<手だてイ>

役割に沿って文章を読んで考えたことや疑問（問い）などを、説明したり、検討したりする活動を組織する。

「コネクター」「クエスチョナー」「イラストレーター」「リサーチャー」の役割で読んで考えたことや疑問（問い）などを説明したり、検討したりする活動を通して、目的に応じて必要な情報に着目して場面と場面、言葉と言葉、場面と描写、自身の体験や経験などを関連付けて、自分なりに内容を解釈する資質・能力を発揮させるために行う。

グループ（3・4人）内で役割を分担して読ませて、ワークシートに考えたことや疑問（問

い)などをまとめさせる。その後、同じ役割からなるグループを意図的に編成して、そのグループで考えたことや疑問(問い)などを交流させる。このことにより、同じ役割であってもとらえ方、解釈の仕方の違いを実感させることにつながり、描写を基にその違いを検討する過程において、読みの広がりや深まりを実感することとなる。次に、当初のグループ(「コネクター」「クエスチョナー」「イラストレーター」「リサーチャー」から編成されたグループ)で考えたことや疑問(問い)などを、説明させたり、検討させたりする。その際、発表の内容について、感想や追加質問を行うように促す。生徒は、描写や既存の知識、自身の体験や経験と関連付けながら内容を自分なりに解釈し、それについてさらに検討することとなる。

＜手だてウ＞

「続岳物語」の他の場面「チャンピオン・ベルト」を役割に沿って読み、考えたことや疑問(問い)などを、説明したり、検討したりする活動を組織する。

複数の視点から文章を読むことなどの有用性を実感し、場面と場面、言葉と言葉、場面と描写、自身の体験や経験などを関連付けて自分なりに内容を解釈する資質・能力を発揮させるために行う。「続岳物語」の他の場面「チャンピオン・ベルト」を提示して、役割に沿って読み、考えたことや疑問(問い)などを、説明したり、検討したりする活動を組織する。さらに、「父親はどのような人か」「父親は岳に対してどのような思いをもっているか」と問う中で、「風呂場の散髪」「チャンピオン・ベルト」から考えた父親の人物像や岳に対する思いについて、場面と場面、言葉と言葉、場面と描写、自身の体験や経験などを関連付けて自分なりに解釈することとなる。

これらの働き掛けによって、複数の視点から文章を読むことなどの有用性を実感し、役割に沿ってまとめたことや登場人物の相互関係や心情の変化を描写を基にとらえ、自身の体験や経験と関連付けて自分なりに解釈することとなる。この姿こそ、資質・能力を発揮した姿そのものである。

<参考文献>

- (1) 足立幸子「リテラチャー・サークルーアメリカの公立学校のディスカッション・グループによる読書指導法」『山形大学教育実践研究』2004, 13, 9～18頁
- (2) 新潟大学教育学部「読書指導カスタンダードに基づく読書指導教員研修プログラムの開発」平成23年度独立行政法人教員研修センター, 教員研修モデルカリキュラム開発プログラム報告書, 2012
- (3) 山元隆春・居川あゆ子「リテラチャー・サークルによる読書活動の開拓ー中学校国語科の場合ー」『学校教育実践学研究』2013, 第19巻, 89～99頁
- (4) 足立幸子「初読の過程をふまえた読書指導ーハーベイ・ダニエルズ『リテラチャー・サークル』の手法を用いてー」『新潟大学教育学部研究紀要』2013受理, 第6巻, 第1号
- (5) ジェニ・ポラック・デイ, ディキシー・リー・シュピーゲル, ジャネット・マクレラン, ヴァレリー・B・ブラウン(著), 山元隆春(訳)『リテラチャー・サークル実践入門』, 溪水社, 2014
- (6) 山元隆春・居川あゆ子「中学校国語科におけるリテラチャー・サークル実践の展開ー『少年の日の思い出』を扱う単元の場合ー」『学校教育実践学研究』2015, 第21巻, 35～45頁
- (7) 立松大祐「リテラチャー・サークルを取り入れた授業改善の試みーアクティブ・ラーニング型授業の指導事例」『愛媛大学教育学部紀要』2016, 第63巻, 93～102頁
- (8) 小林一貴・須本良夫「話し合い活動における学習者の話題への関与と読みの生成ーリテラチャー・サークルを導入した学習活動の分析を通して」『岐阜大学教育学部研究報告 人文科学』2017, 第66巻, 21～29頁
- (9) 東洋館出版社『中学校新学習指導要領ポイント総整理』2017
- (10) 明治図書『中学校新学習指導要領の展開』2017

<リテラチャー・サークルについて>

1990年代から米国で盛んになった読書指導法である。リテラチャー・サークルは、優れた読み手が無意識的に用いている読書方略（自分の経験と結び付けながら読む、優れた表現を味わいながら読む、疑問をもちながら読む、情景を思い浮かべながら読む等）を一人ずつ役割として分担し、数人組のグループ内で交代しながら意識的に読ませる読書指導法である。以下、役割について記す。

- ・ コネクター : 「本」と「自分」との間につながりを見つける役割。つながりとは、本を読んだことで思い出した「自分の体験や経験」「他の本やテレビで見たこと」などを指す。
- ・ クエストナー : 文章を読んで疑問に思ったり、わからなかったり、違うのではないかと思ったりしたことをまとめる役割。
- ・ イラストレーター : 文章を読んで目に浮かんだ映像、場面、風景、登場人物などを絵や図にする役割。
- ・ リサーチャー : 文章中の根拠を明確にしながら人物像をまとめたり、登場人物の心情を図やグラフに表したりする役割。

6 単元の構想 (全10時間 本時 9/10)

目	生徒の意識	学習活動・内容	教師の支援・指導	評価の方法
目的意識 父親の岳に 対する 思いを 知り たい	普段自分はどのような視点で本を読んでいるのかな 仲間はどうような視点で本を読んでいるのかな 『風呂場の散髪』はどんなお話かな 岳に対する父親の思いとは何かな	① 日常の読書活動における読みの視点を共有する。 ・ 自分の体験などと重ねて読む。 ・ 疑問点を調べながら読む。 ・ 具体的にイメージしながら読む。 ・ 心情がわかる表現に注目して読む。 ② 『風呂場の散髪』を読んで気付いたことや疑問を教科書に書き込む。さらに、感想や疑問をワークシートにまとめる。 ③ 教科書P5L16までを読んで、父親の人物像についてまとめる。また、父親の岳に対する言動を「理解できるか」「理解できないか」自分の立場とその理由をまとめる。 ④ まとめたことを発表する。	質問： 普段、読書をする時にどんなことを意識して読んでいるか。または、どんな視点で読んでいるか。 ○ 生徒に発表させて日常の読書活動における全体で読みの視点を共有する。 指示： 『風呂場の散髪』を読んで気付いたことや疑問を教科書に書き込みなさい。さらに、感想や疑問をワークシートにまとめたなさい。 指示： 教科書P5L16までを読んで、父親の人物像についてまとめたなさい。さらに、父親の岳に対する言動を「理解できるか」「理解できないか」自分の立場とその理由をまとめたなさい。 指示： まとめたことを発表しなさい。	【思・判・表】 WS
	場面・段落にはどんな特徴があるのかな 文章の中の疑問点とは何かな 文章中の描写からどんな絵・図が描くことができるかな 心情がどう変化しているかな	【本題材における課題】 父親は岳に対してどのような思いを抱いているか ⑤ ①で共有した視点を踏まえて読みの役割について知り分担する。 ・ 「コネクター」「クエスチョナー」「イラストレーター」「リサーチャー」の役割を決定し、役割分担表に記入する。 ⑥ 第1部を読んでワークシート（役割シート）に、考えたことを書き込む。 ⑦ 同じ役割のグループを編成して自分がまとめた内容を交流する。 ⑧ 役割に基づいて、学習グループ4人グループ内でまとめたことを発表する。	○ 全体で共有する中で「父親はみなさんが挙げたような人か。」「岳はこの後どうなるか。」と追加発問を行う。 発問： 「父親は岳に対してどのような思いを抱いているか」 ○ ①で共有した読みの視点を基に「コネクター」「クエスチョナー」「イラストレーター」「リサーチャー」の役割を設定する。その上で、『風呂場の散髪』を4つの場面に分けて第1部から第4部まで学習グループ（3・4人）の中で役割を決定させる。なお、一人が4部を通して全ての役割を担当するようにする。 指示： 第1部を読んでそれぞれのワークシートに、読んで考えたことを書き込みなさい。 指示： 同じ役割の人で役割グループを編成して自分がまとめた内容を交流しなさい。 指示： それぞれの役割に基づいて、まとめた内容を学習グループの中で発表したり、発表に対しての感想を述べたりしなさい。疑問（問い）については検討しなさい。	【思・判・表】 WS
	⑥から⑧の活動を第2部から第4部まで行う。			
このお話の続きにはどんなことが描かれているのかな 場面・段落にはどんな特徴があるのかな 心情がどう変化しているかな	⑨ 父親は岳に対してどのような思いを抱いているかについて検討する。 ⑩ 『風呂場の散髪』には他に『チャンピオン・ベルト』という話があることを知る。 ⑪ 役割に基づいて、第1部から第4部を分担する。 ⑫ 第1部を読んでワークシート（役割シート）に、考えたことを書き込む。 ⑬ 同じ役割のグループを編成して自分がまとめた内容を交流する。 ⑭ 役割に基づいて、学習グループ4人グループ内でまとめたことを発表する。	発問： 第4部まで読んで父親は岳に対してどのような思いを抱いているか。 発問： 『風呂場の散髪』には他に『チャンピオン・ベルト』という話がある。『チャンピオン・ベルト』においても『風呂場の散髪』ような思いを父は岳に抱いているのだろうか。 指示： 第1部から第4部を分担しなさい。 指示： 第1部を読んでそれぞれのワークシートに、読んで考えたことを書き込みなさい。 指示： 同じ役割の人で役割グループを編成して自分がまとめた内容を交流しなさい。 指示： それぞれの役割に基づいて、まとめた内容を学習グループの中で発表したり、発表に対しての感想を述べたりしなさい。疑問（問い）については検討しなさい。	【思・判・表】 WS	
	⑪から⑭の活動を第2部から第4部まで行う。			
父親の岳に対する思いは『風呂場の散髪』の時と変化はあるのかな	⑮ 父親は岳に対してどのような思いを抱いているかについてまとめて学習グループで検討する。	発問： 父親は岳に対してどのような思いを抱いているか。ワークシートにまとめたなさい。	【思・判・表】 WS	
	⑯ 『風呂場の散髪』『チャンピオン・ベルト』を読んだの感想をまとめる。	指示： 『風呂場の散髪』『チャンピオン・ベルト』を読んだの感想をまとめたなさい。	【思・判・表】 WS	

7 本時の詳細

(1) 前時までの学習を終えた生徒の実態

- 「風呂場の散髪」を読む際に「コネクター」「クエスチョナー」「イラストレーター」「リサーチャー」の役割を体験している。(学習活動⑥⑦⑧)
- 自分なりに教科書の描写を基に父親の岳に対する思いについてワークシートにまとめている。(学習活動⑨)
- 「チャンピオン・ベルト」第1部から第3部まで自分の役割で読んで、それぞれの役割に沿って考えたことなどをワークシートにまとめている。(学習活動⑪⑫⑬⑭, ワークシート)
- 第4部, 同じ役割のグループにおいて, 役割に沿って考えたことなどを交流している。(学習活動⑬)

(2) 本時のねらい

「チャンピオン・ベルト」から読み取った内容を可視化し、伝え合うことを通して、「父親は岳に対してどのような思いを抱いているか」について説明することができる。

(3) 評価基準

○ 評価の観点—思考・判断・表現

A	B
『チャンピオン・ベルト』に記された父親の岳に対しての思いについて、『風呂場の散髪』と『チャンピオン・ベルト』における共通点と相違点に着目しながら、コネクター・クエスチョナー・イラストレーター・リサーチャーの読みの視点と自分や仲間の考えを関連付けて、説明することができる。	『チャンピオン・ベルト』に記された父親の岳に対しての思いについて、コネクター・クエスチョナー・イラストレーター・リサーチャーの読みの視点と自分や仲間の考えを関連付けて、説明することができる。

(4) 本時の展開

学習活動・予想される生徒の反応	教師の支援・指導 ■ 評価の観点・方法
<p>① 『チャンピオン・ベルト』第4部の役割に基づいて、学習グループ内でまとめたことを発表する活動</p> <p><予想される生徒の反応></p> <ul style="list-style-type: none">・ 「さあ少年、どんどん脱皮をしていきなさい。」の「脱皮」とは何を意味しているのか。 → これについては、『風呂場の散髪』でもでてきたよね。「チャンピオン・ベルト」において「脱皮」は第2部でてきたように掃除をすること。掃除をすることとは自分と向き合い客観的に「必要」「不要」を考えると。この過程で、過去の自分を脱ぎ捨てて、新たな自分になること。つまり、「脱皮」とは「成長すること」だと思う。・ 自分も小学生のころ、親とよくプロレスごっこをしたなあ。お風呂に入った後、父親とプロレスをするんだけど、いつも負けていた。今やるとおそらく僕が勝つんだろうなあ。そう考えると僕も成長したのかなあと思う。・ 最後の方に「それから私はあまり力のない欠伸をひとつして、うっかり忘れるところだったゴミ袋を取りに階下の台所に降りていった。」とあるが、この時の父親の気持ちとしては、岳の成長を考えて思わずほっとして力が抜けた感じだと思うなあ。	<p><指示></p> <p>それぞれの役割に基づいて、まとめた内容を学習グループの中で発表したり、発表に対しての感想を述べたりしなさい。疑問については検討しなさい。 (手だてイ) (手だてウ)</p> <ul style="list-style-type: none">○ 学習グループ内で発表させる。○ 抽象的にとらえている場合は、「具体的にどういうことか」と問う。○ グループ交流で気付いたことはワークシートに記述させる。
<p>② 父親の岳に対する思いをまとめる活動</p> <p><予想される生徒の記述></p> <ul style="list-style-type: none">・ 「風呂場の散髪」では、父親が岳に対して一方的に髪を切ろうとするような自分勝手な面も見られたし、父親自身が岳に言うことをきかせたいという一面が見られた。その後、妻とのやりとりの中で、「反抗」ではなく「自立」という思いに至るが、まだ納得しないように思えた。一方、「チャンピオン・	<p><発問></p> <p>父親は岳に対してどんな思いを抱いているか。ワークシートにまとめなさい。</p> <ul style="list-style-type: none">○ ワークシートにまとめさせる。○ 学習活動⑨でワークシートに記述したことやこれまでの役割シートを参考にさせる。

ベルト」では、岳の言動に焦点が当てられており、父親が岳に対して気を遣っているようにも思える。

③ ②でまとめた「父親の岳に対する思い」について学習グループで交流する活動

<予想される生徒の反応>

- 二つのお話は「脱皮」というキーワードでつながっている。どちらも「成長」。「成長をよるこんでいるんだよ。」
- 親としてまだまだ、子供になつてほしいけれど、「成長する」ということは自立であり、岳自身の考えをもちながら歩いていくことを応援しようとする思いがあるんだよ。

④ 父親の岳に対する思いをまとめる活動

<予想される生徒の記述>

- 「風呂場の散髪」では、父親が岳に対して一方的に髪を切ろうとするような自分勝手な面も見られたし、父親自身が岳に言うことをきかせたいという一面が見られた。その後、妻とのやりとりの中で、「反抗」ではなく「自立」という思いに至るが、まだ納得しないように思えた。一方、「チャンピオン・ベルト」では、岳の言動に焦点が当てられており、父親が岳に対して気を遣っているようにも思える。最初、父親は岳に対して一方的で、傲慢、自分勝手と思っていたが、案外、岳に対して優しい父親だということがわかった。二つのお話は「脱皮」というキーワードでつながっている。どちらも「成長」。岳のどんどん成長していく姿を見ながら、父親は岳と距離を取りながら見守りつつ、その成長を喜んでいるのではないだろうか。そこには、親としてまだまだ、子供になつてほしいけれど、「成長する」ということは自立であり、岳自身の考えをもちながら歩いていくことを応援しようとする思いがあるのではないかと考える。

<指示>

「父親の岳に対する思い」について学習グループで交流しなさい。

- 教科書の描写を根拠として具体的にとらえさせる。
- いくつかの学習グループの考えを全体で共有する。

<指示>

「父親の岳に対する思い」についてワークシートにまとめなさい。

- これまでの学びのワークシートを机上に用意させる。

--	--